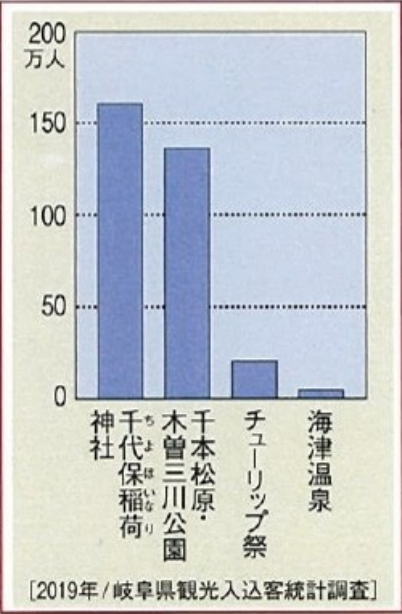
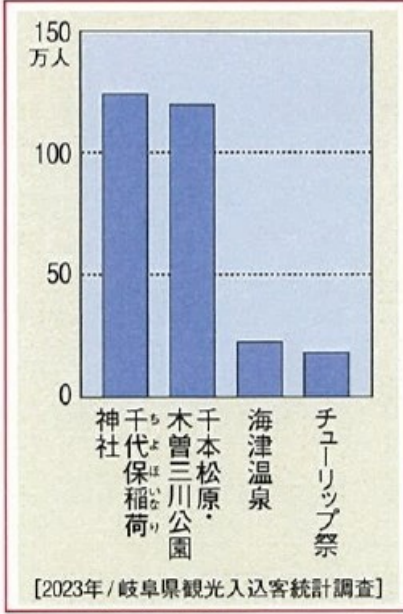
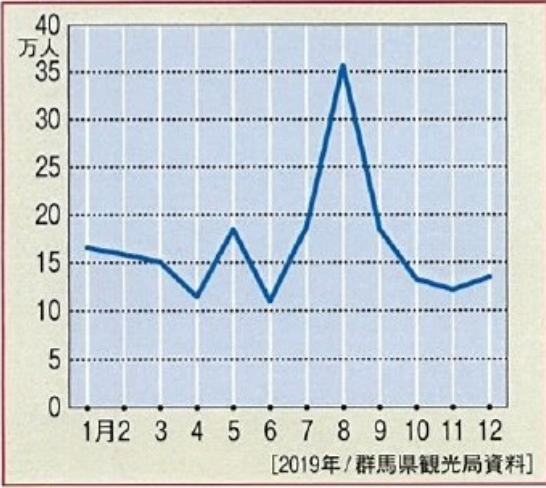
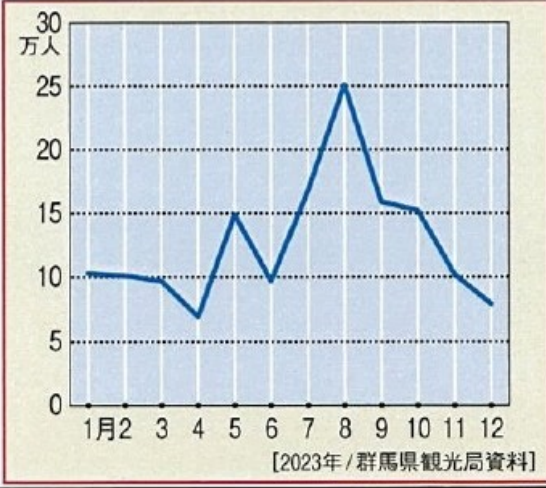
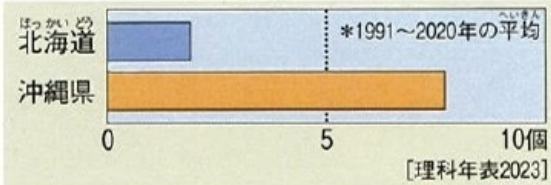
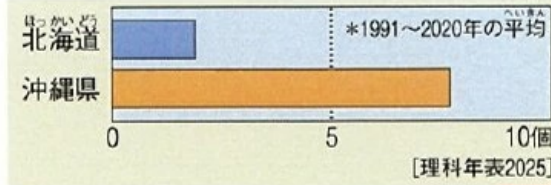
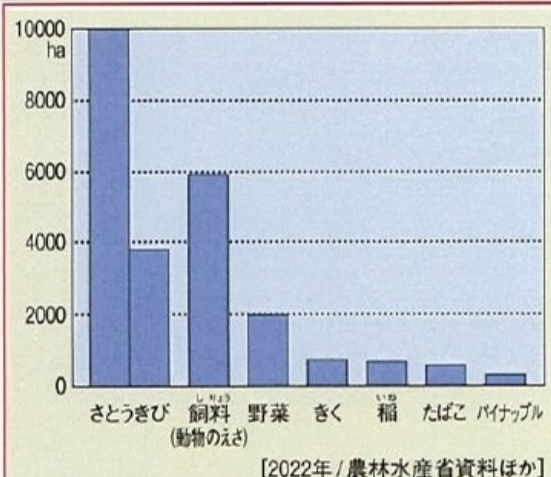
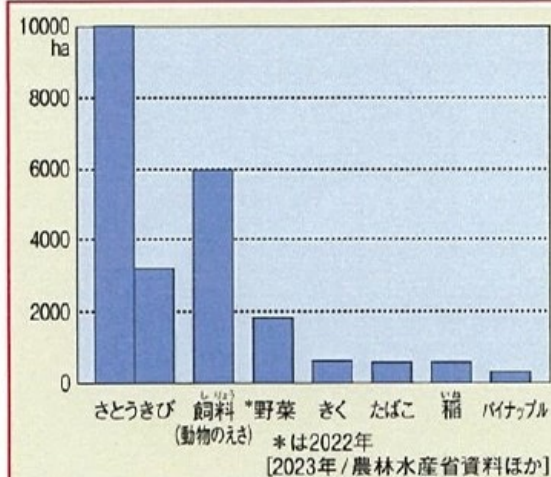
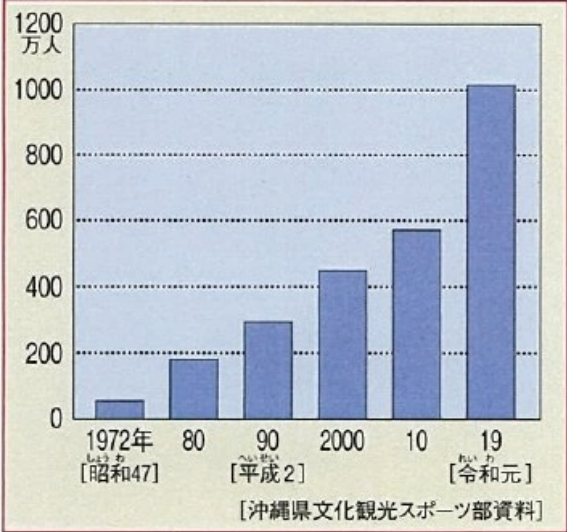
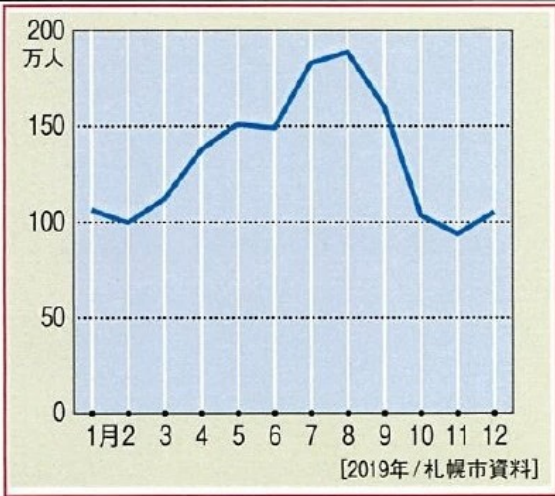
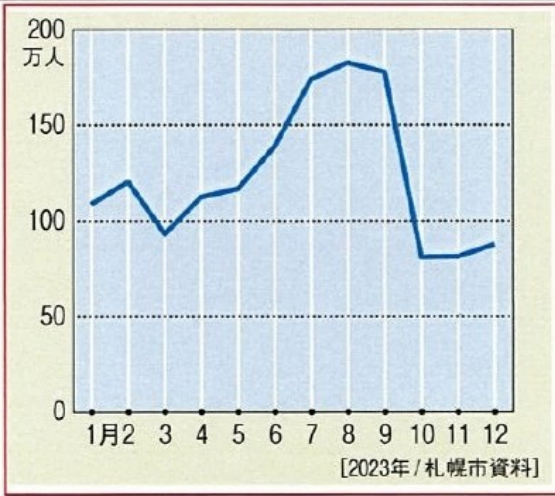
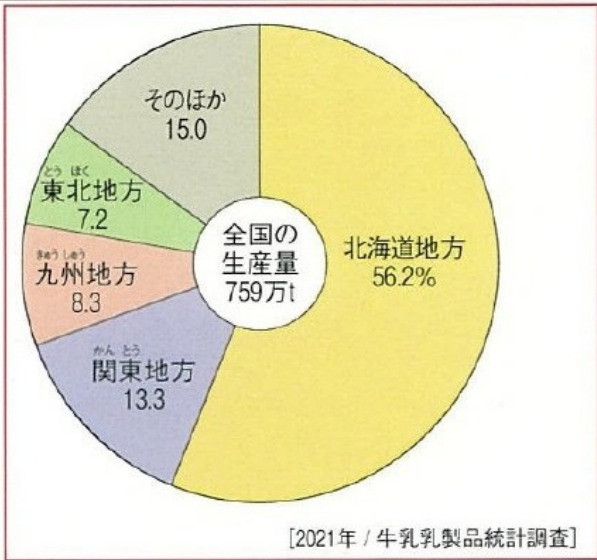
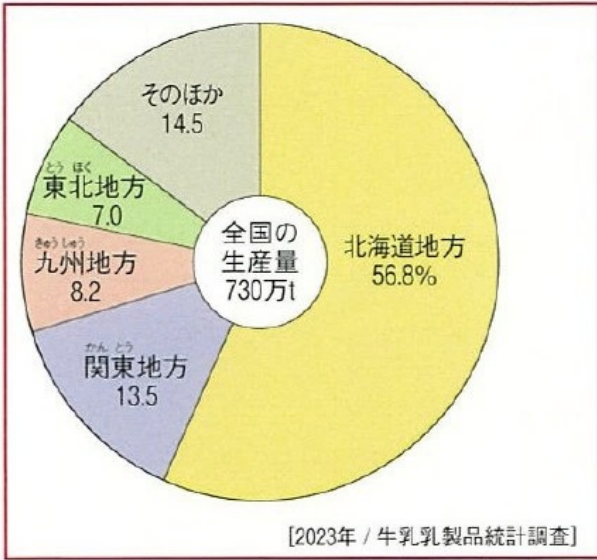


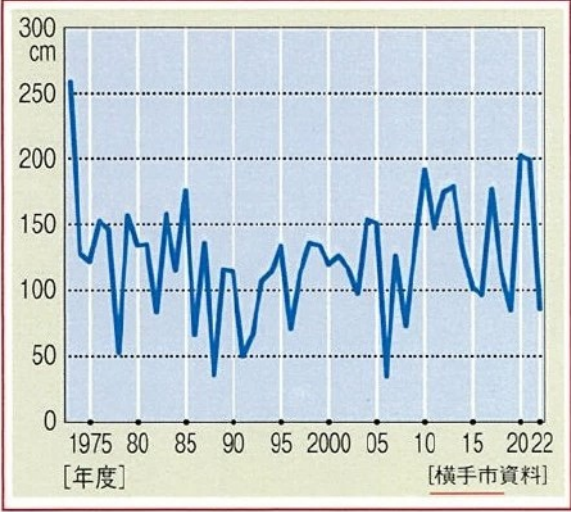
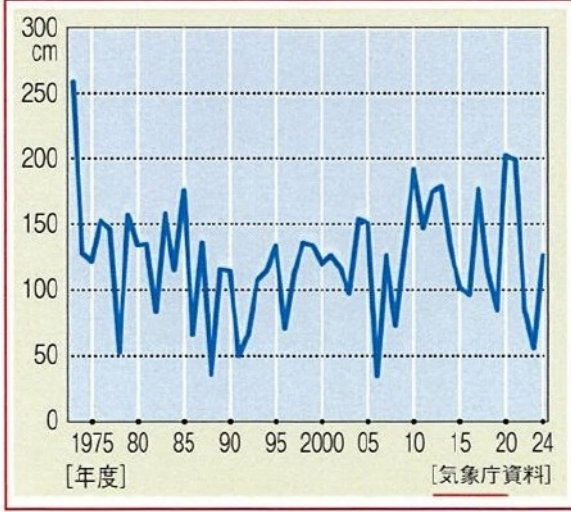
番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
1	19	資料⑥	山地 $\frac{73}{100}$ 平地 $\frac{25}{100}$ 川・湖 $\frac{2}{100}$ 総面積 37.8万km² [2023年/日本統計年鑑 令和5年]	山地 $\frac{73}{100}$ 平地 $\frac{25}{100}$ 川・湖 $\frac{2}{100}$ 総面積 37.8万km² [2024年/日本統計年鑑 令和7年]
2	20	資料⑥ タイトル	📌⑥日本と世界の主な湖の面積 [理科年表 <u>2023</u>]	📌⑥日本と世界の主な湖の面積 [理科年表 <u>2025</u>]
3	29	資料④	[2020年/農林水産省資料]	*は2020年 [2024年/農林水産省資料]

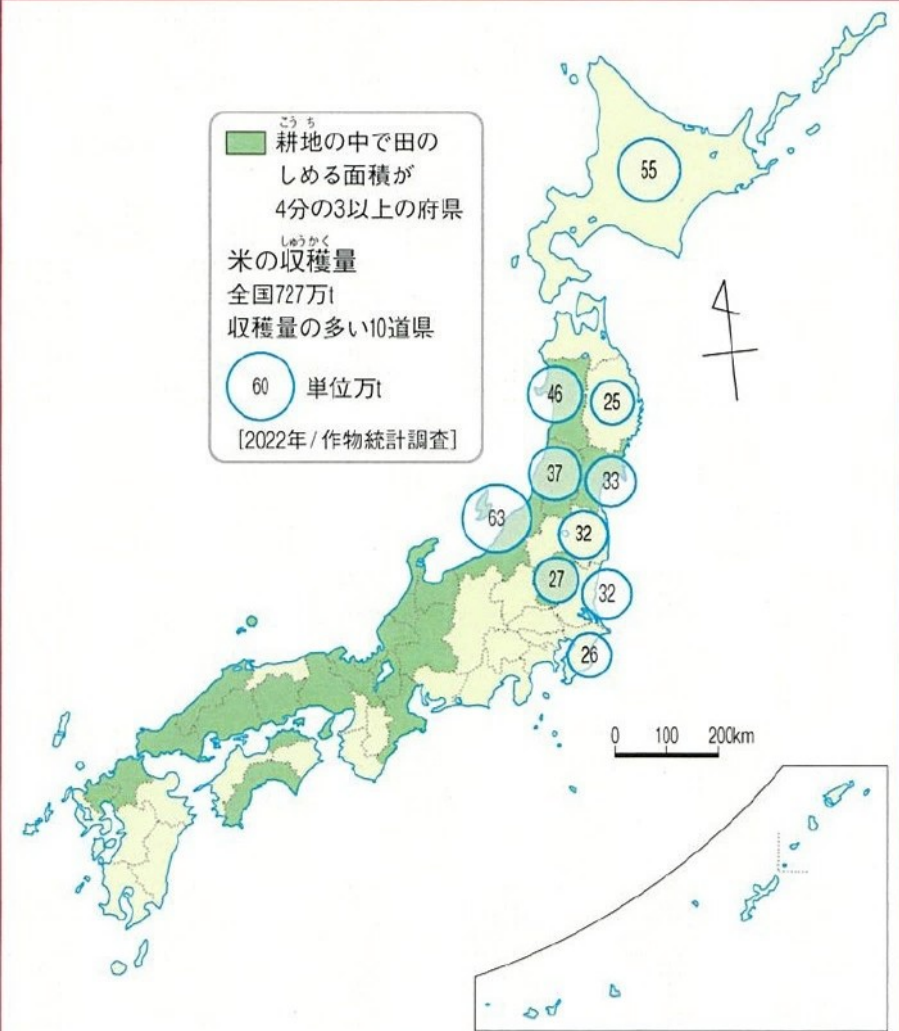
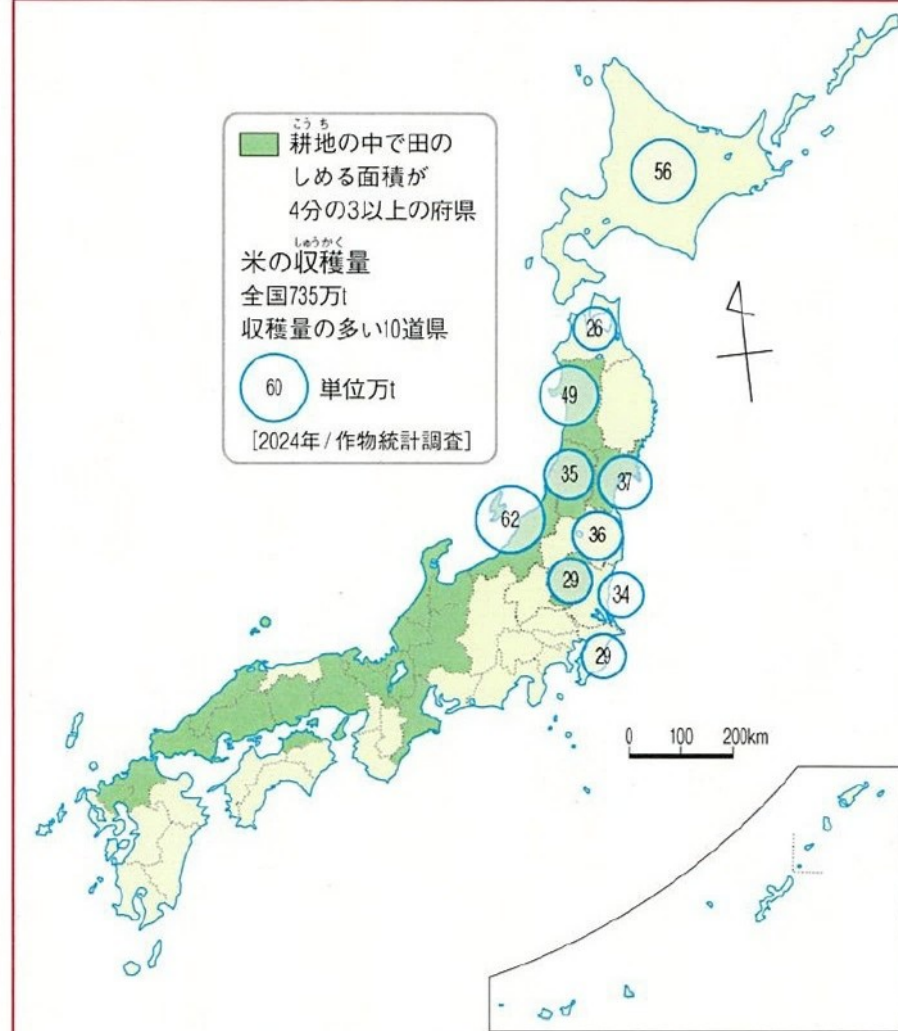
番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
4	30	資料⑤	 [2019年/岐阜県観光入込客統計調査]	 [2023年/岐阜県観光入込客統計調査]
5	37	資料⑧	(別紙 1 参照)	(別紙 1 参照)
6	38	資料⑤	 [2019年/群馬県観光局資料]	 [2023年/群馬県観光局資料]
7	40	資料② タイトル	2 60年前の下栗地区	2 70年前の下栗地区

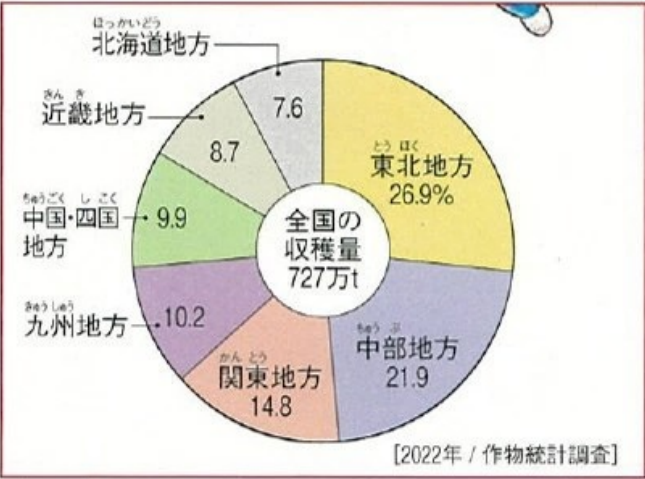
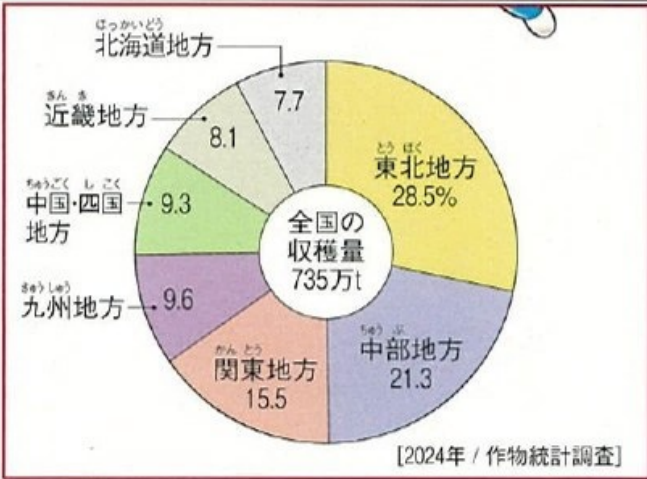
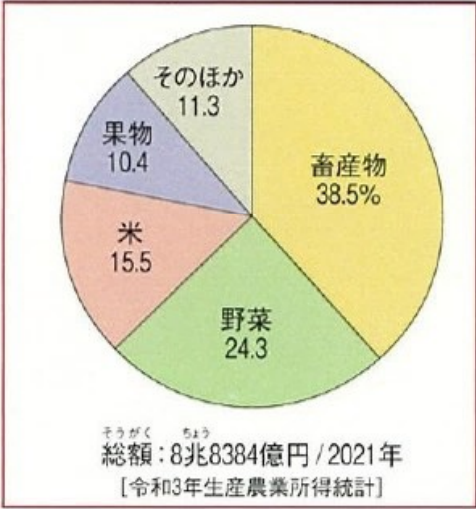
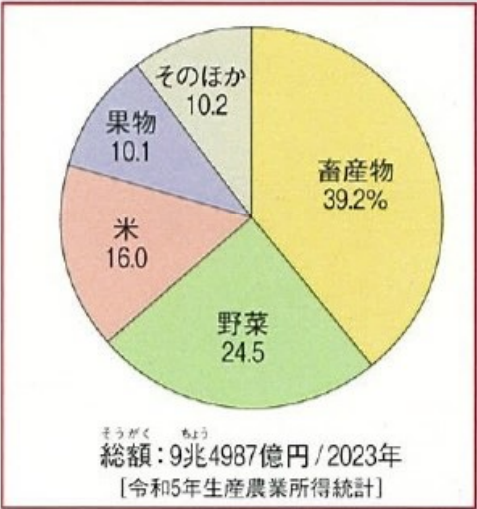
番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
8	40	5~7	ます。<u>60年</u>ほど前までは細い道しかなかったため、荷物を運ぶのは馬を使うか、人の力にたよっていましたが、約<u>50年前</u>に自動車を通れる道路ができ	ます。<u>70年</u>ほど前までは細い道しかなかったため、荷物を運ぶのは馬を使うか、人の力にたよっていましたが、約<u>60年前</u>に自動車を通れる道路ができ
9	46	資料① タイトル	➡①国土の気候のちがいをまとめた地図とグラフ [理科年表 <u>2023</u>]	➡①国土の気候のちがいをまとめた地図とグラフ [理科年表 <u>2025</u>]
10	48	資料③	 北海道 沖縄県 0 5 10個 [理科年表<u>2023</u>]	 北海道 沖縄県 0 5 10個 [理科年表<u>2025</u>]
11	48	資料④ タイトル	⬆④那覇と東京の気温と降水量 [理科年表 <u>2023</u>] 自分たちの住む地域と比べてみましょう。	⬆④那覇と東京の気温と降水量 [理科年表 <u>2025</u>] 自分たちの住む地域と比べてみましょう。
12	50	資料①	 さとうきび 飼料 野菜 きく 稲 たばこ パイナップル (動物のえさ) 0 2000 4000 6000 8000 10000 ha [2022年 / 農林水産省資料ほか]	 さとうきび 飼料 野菜 きく たばこ 稲 パイナップル (動物のえさ) 0 2000 4000 6000 8000 10000 ha *は2022年 [2023年 / 農林水産省資料ほか]

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
13	53	資料⑦	 1200 万人 1000 800 600 400 200 0 1972年 80 90 2000 10 19 [昭和47] [平成2] [令和元] [沖縄県文化観光スポーツ部資料]	 1200 万人 1000 800 600 400 200 0 1972年 80 90 2000 10 19 24 [昭和47] [平成2] [令和元] [沖縄県文化観光スポーツ部資料]
14	56	資料② タイトル	↑②札幌と東京の気温と降水量 [理科年表 2023]	↑②札幌と東京の気温と降水量 [理科年表 2025]
15	56	資料③	(別紙 1 参照)	(別紙 1 参照)
16	58	資料④	 [2021年度/札幌市資料] 札幌駅 さっぽろ 札幌市 雪たい積場 ゆう雪施設 0 10km	 [2022年度/札幌市資料] 札幌駅 さっぽろ 札幌市 雪たい積場 ゆう雪施設 0 10km

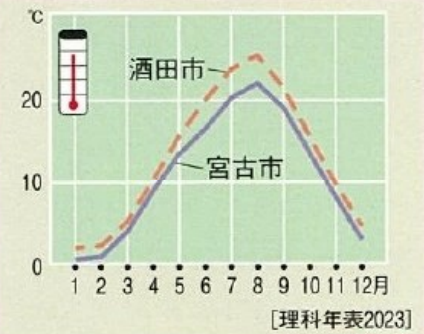
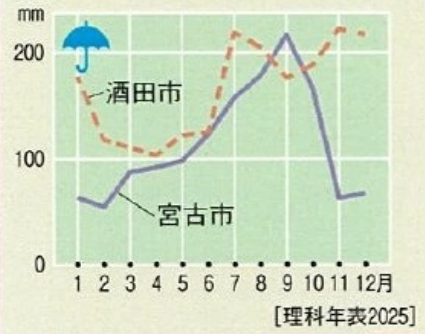
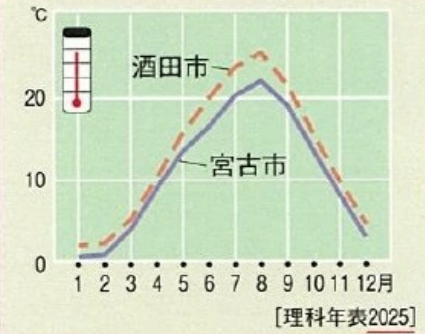
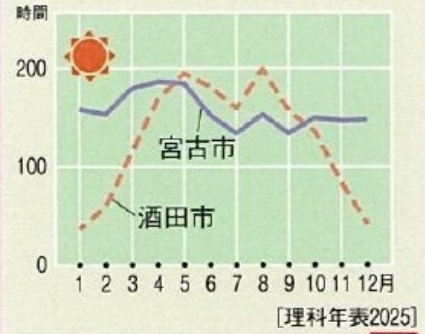
番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
17	58	16	除雪した雪は、約 <u>70</u> か所ある雪たい積場に運びます。	除雪した雪は、約 <u>80</u> か所ある雪たい積場に運びます。
18	59	資料⑦		
19	61	資料⑤		

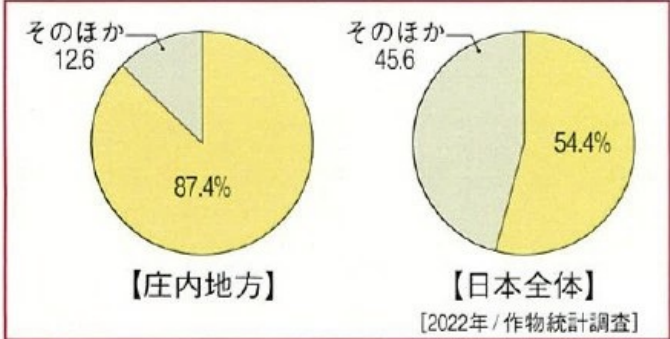
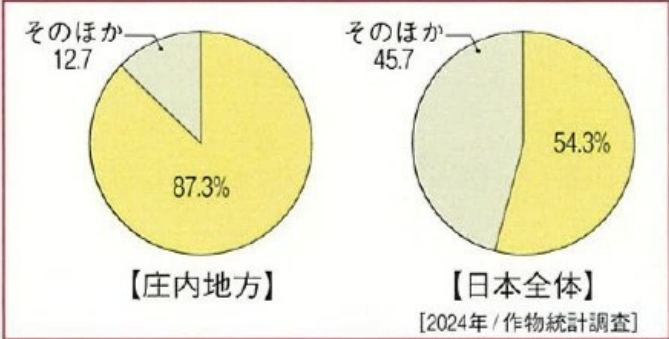
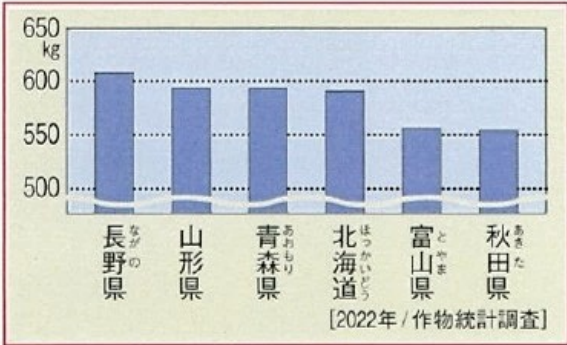
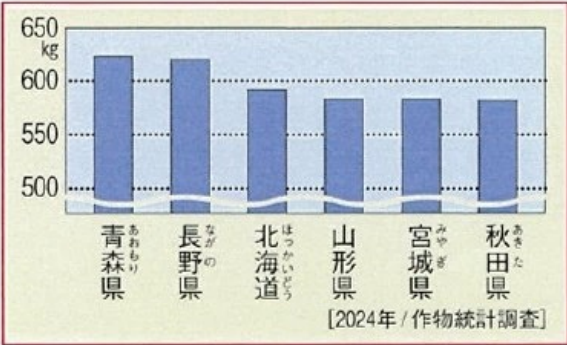
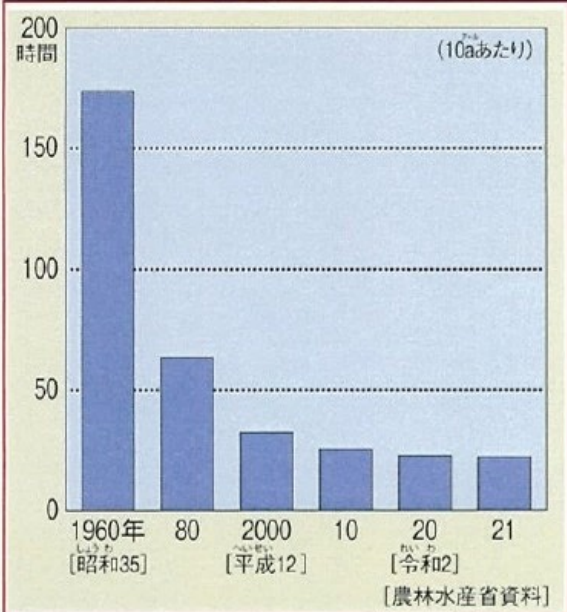
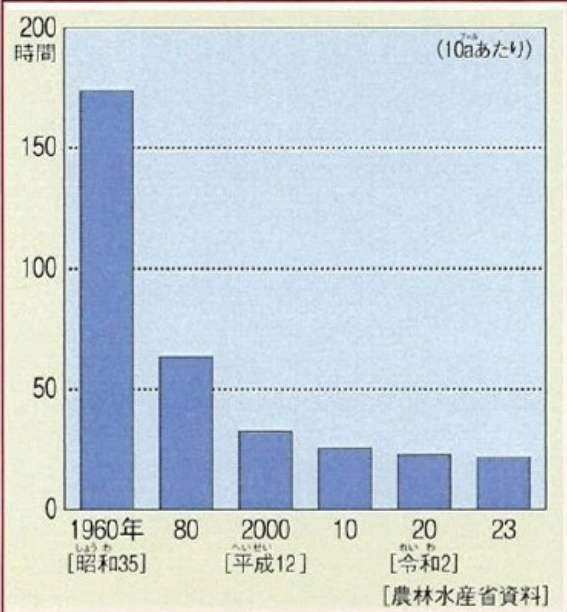
番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
20	64	資料②		

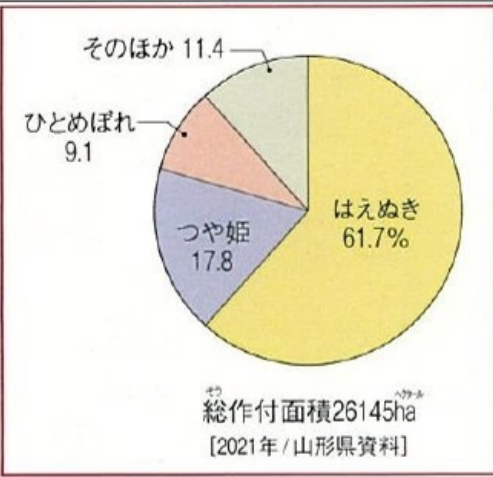
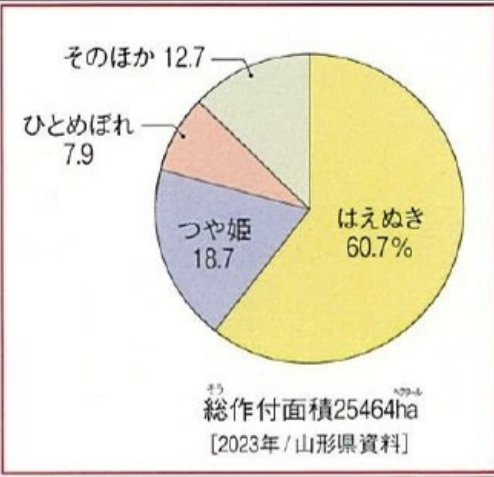
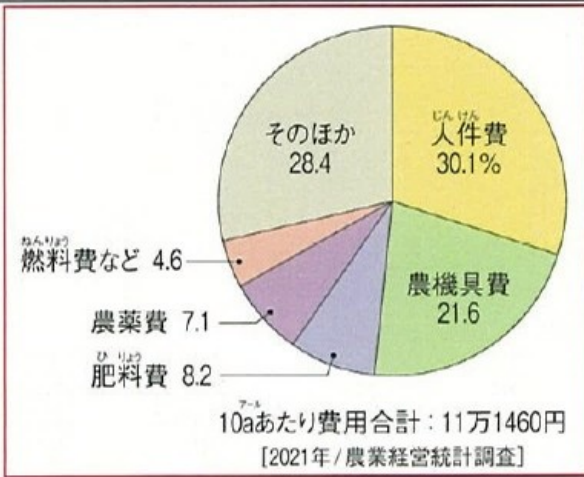
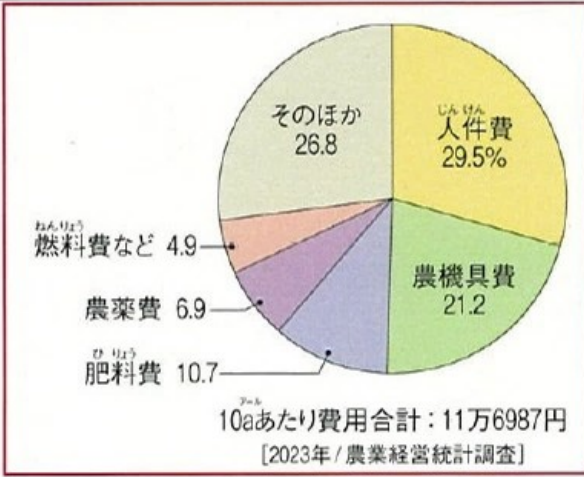
番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
21	71	資料⑥	 こうち 耕地の中で田の しめる面積が 4分の3以上の府県 米の収穫量 全国727万t 収穫量の多い10道県 60 単位万t [2022年/作物統計調査]	 こうち 耕地の中で田の しめる面積が 4分の3以上の府県 米の収穫量 全国735万t 収穫量の多い10道県 60 単位万t [2024年/作物統計調査]

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
22	71	資料⑦	 全国の収穫量 727万t [2022年 / 作物統計調査]	 全国の収穫量 735万t [2024年 / 作物統計調査]
23	72	資料①	 畜産物 38.5% 野菜 24.3 米 15.5 果物 10.4 そのほか 11.3 総額：8兆8384億円 / 2021年 [令和3年生産農業所得統計]	 畜産物 39.2% 野菜 24.5 米 16.0 果物 10.1 そのほか 10.2 総額：9兆4987億円 / 2023年 [令和5年生産農業所得統計]
24	72	資料②	(別紙 1 参照)	(別紙 1 参照)
25	73	資料④	(別紙 5 参照)	(別紙 6 参照)

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
26	73	資料⑥	(別紙 5 参照)	(別紙 6 参照)
27	73	資料⑧	(別紙 5 参照)	(別紙 6 参照)
28	74 75	全体	(別紙 7 参照)	(別紙 8 参照)

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
29	77	資料④	 月別降水量  月別平均気温  月別日照時間	 月別降水量  月別平均気温  月別日照時間

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
30	78	資料②	 【庄内地方】 【日本全体】 [2022年 / 作物統計調査]	 【庄内地方】 【日本全体】 [2024年 / 作物統計調査]
31	78	資料③	 [2022年 / 作物統計調査]	 [2024年 / 作物統計調査]
32	83	資料④	 [農林水産省資料]	 [農林水産省資料]

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
33	85	資料⑦	 そのほか 11.4 ひとめぼれ 9.1 つや姫 17.8 はえぬき 61.7% 総作付面積26145ha [2021年/山形県資料]	 そのほか 12.7 ひとめぼれ 7.9 つや姫 18.7 はえぬき 60.7% 総作付面積25464ha [2023年/山形県資料]
34	87	資料④	(別紙 2 参照)	(別紙 2 参照)
35	87	資料⑤	(別紙 2 参照)	(別紙 2 参照)
36	87	資料⑦	 そのほか 28.4 人件費 30.1% 農機具費 21.6 肥料費 8.2 農薬費 7.1 燃料費など 4.6 10aあたり費用合計：11万1460円 [2021年/農業経営統計調査]	 そのほか 26.8 人件費 29.5% 農機具費 21.2 肥料費 10.7 農薬費 6.9 燃料費など 4.9 10aあたり費用合計：11万6987円 [2023年/農業経営統計調査]

番号	訂正箇所	
	ページ	行

37

88

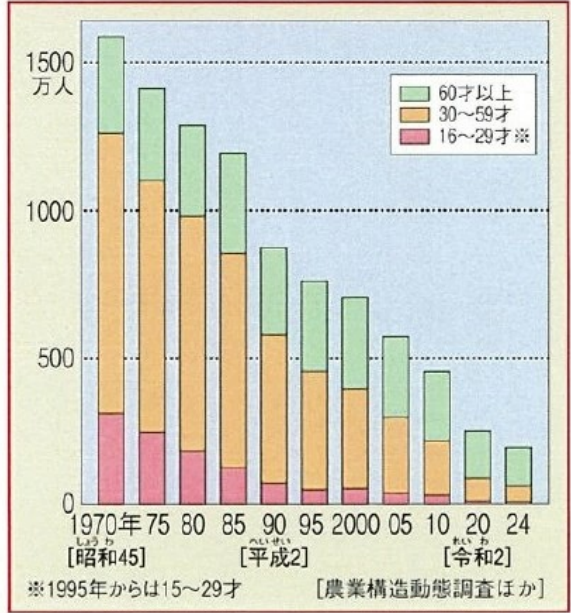
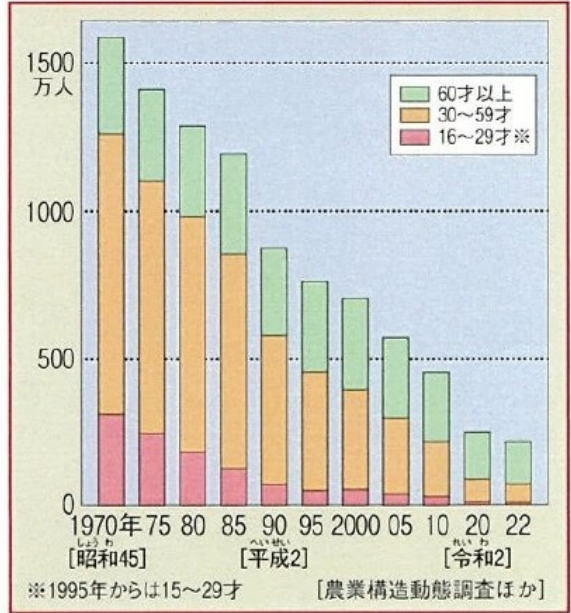
資料②

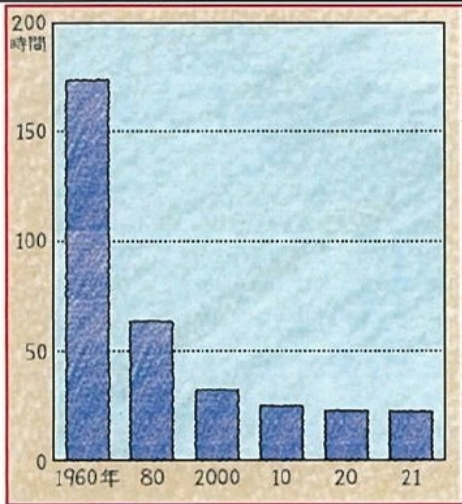
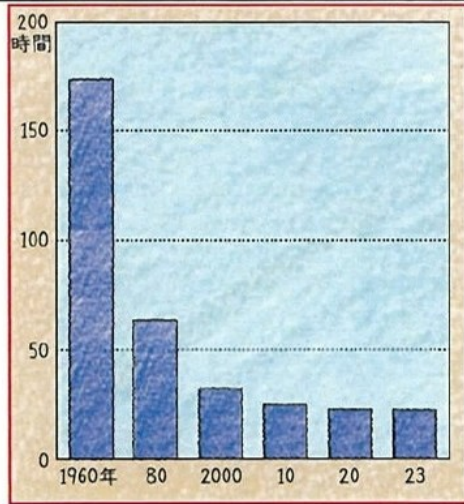
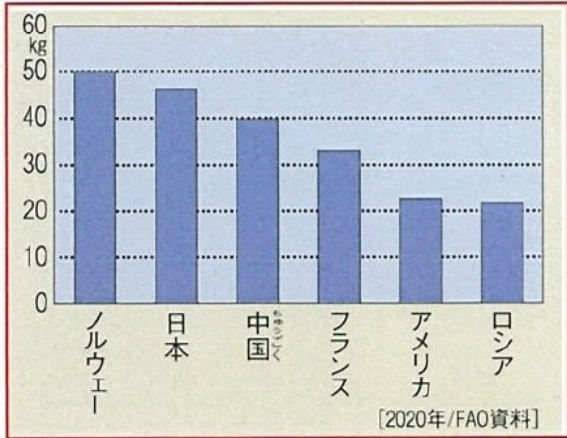
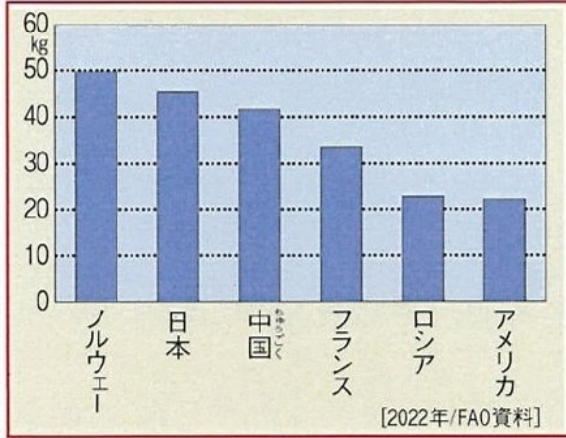


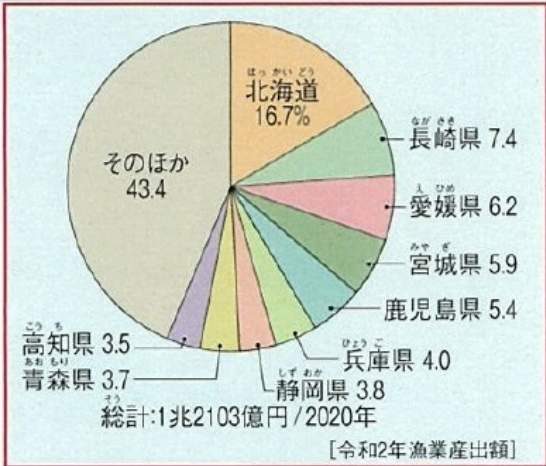
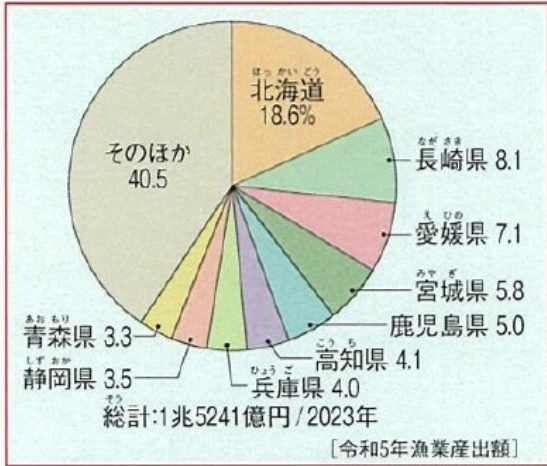
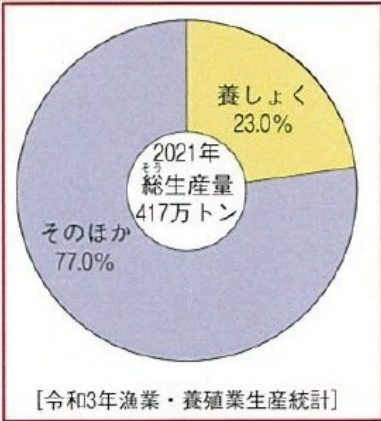
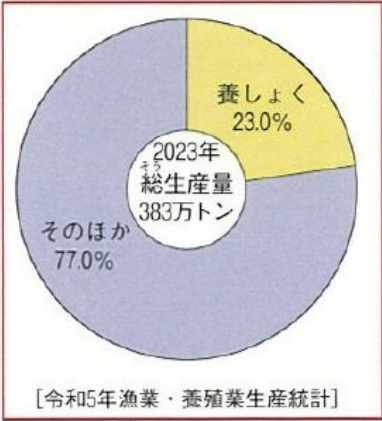
38

89

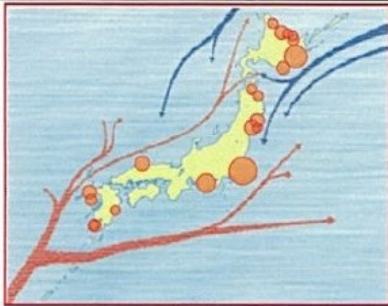
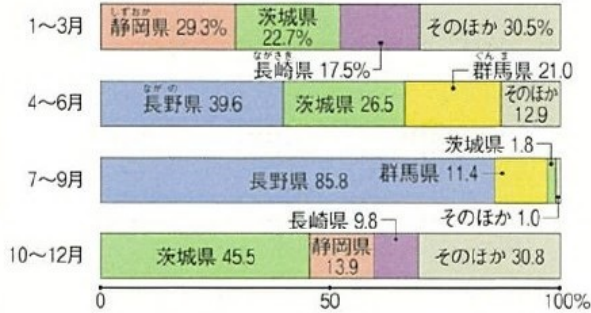
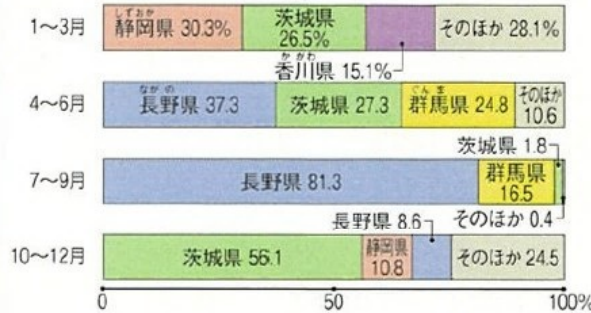
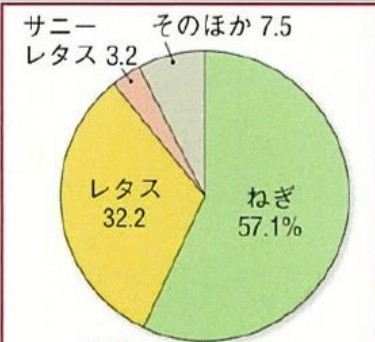
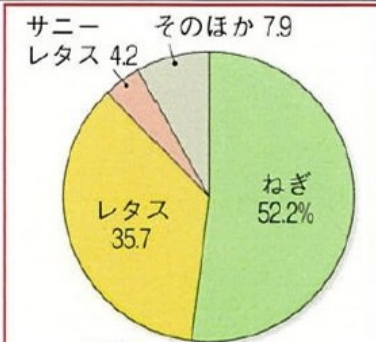
資料⑦



番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
39	91	中央		
40	94	資料③	 [2020年/FAO資料]	 [2022年/FAO資料]
41	95	資料④	(別紙 2 参照)	(別紙 2 参照)

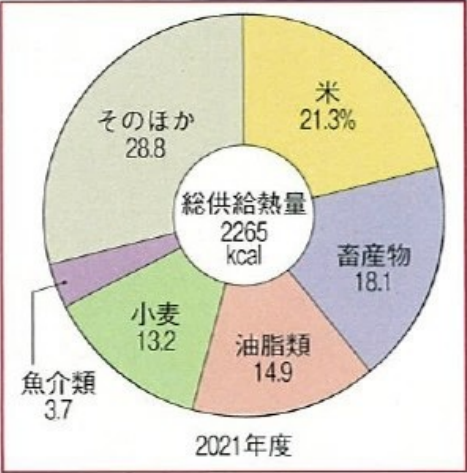
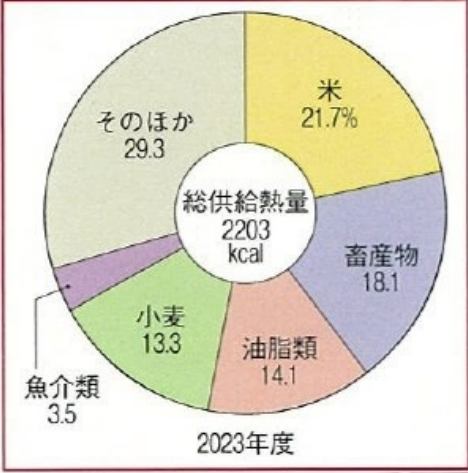
番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
42	95	資料⑤	 北海道 16.7% そのほか 43.4 長崎県 7.4 愛媛県 6.2 宮城県 5.9 鹿児島県 5.4 高知県 3.5 青森県 3.7 兵庫県 4.0 静岡県 3.8 総計:1兆2103億円/2020年 [令和2年漁業産出額]	 北海道 18.6% そのほか 40.5 長崎県 8.1 愛媛県 7.1 宮城県 5.8 鹿児島県 5.0 高知県 4.1 青森県 3.3 静岡県 3.5 兵庫県 4.0 総計:1兆5241億円/2023年 [令和5年漁業産出額]
43	97	8	かつおは、枕崎だけでも1年で約 <u>6</u> 万トンにもなるので、	かつおは、枕崎だけでも1年で約 <u>7</u> 万トンにもなるので、
44	102	資料⑤	 2021年 総生産量 417万トン そのほか 77.0% 養しよく 23.0% [令和3年漁業・養殖業生産統計]	 2023年 総生産量 383万トン そのほか 77.0% 養しよく 23.0% [令和5年漁業・養殖業生産統計]
45	104	資料①	(別紙3参照)	(別紙3参照)

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
46	104	資料②	400 300 200 100 0 1970年 80 85 90 95 2000 05 10 15 20 22 [昭和45] [平成2] [令和2] 〔農林水産物輸出入概況ほか〕	400 300 200 100 0 1970年 80 85 90 95 2000 05 10 15 20 23 [昭和45] [平成2] [令和2] 〔農林水産物輸出入概況ほか〕
47	105	資料③	(別紙 3 参照)	(別紙 3 参照)
48	105	資料④	60 万人 女 男60才以上 男40～59才 男15～39才 1970年 75 80 85 90 95 2000 05 10 15 20 [昭和45] [平成2] [令和2] 〔漁業構造動態調査〕	60 万人 女 男60才以上 男40～59才 男15～39才 1970年 75 80 85 90 95 2000 05 10 15 20 22 [昭和45] [平成2] [令和2] 〔漁業構造動態調査〕

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
49	106	左上		
50	110	資料②	 1～3月 静岡県 29.3% 茨城県 22.7% そのほか 30.5% 長野県 17.5% 群馬県 21.0 4～6月 長野県 39.6 茨城県 26.5 そのほか 12.9 茨城県 1.8 7～9月 長野県 85.8 群馬県 11.4 長崎県 9.8 そのほか 1.0 10～12月 茨城県 45.5 静岡県 13.9 そのほか 30.8 0 50 100% [2022年 / 東京都中央卸売市場月報]	 1～3月 静岡県 30.3% 茨城県 26.5% そのほか 28.1% 香川県 15.1% 群馬県 24.8 4～6月 長野県 37.3 茨城県 27.3 そのほか 10.6 茨城県 1.8 7～9月 長野県 81.3 群馬県 16.5 長野県 8.6 そのほか 0.4 10～12月 茨城県 56.1 静岡県 10.8 そのほか 24.5 0 50 100% [2024年 / 東京都中央卸売市場月報]
51	111	資料⑥	 サニー レタス 3.2 そのほか 7.5 レタス 32.2 ねぎ 57.1% 総額69億円 / 2022年度 [JA岩井資料]	 サニー レタス 4.2 そのほか 7.9 レタス 35.7 ねぎ 52.2% 総額75億円 / 2024年度 [JA岩井資料]

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
52	111	資料⑦	坂東市 茨城県 下総利根大橋 芽吹大橋 埼玉県 利根川 千葉県 東京都 [2023年] 東京都までの道のり — 芽吹大橋を経由 — 下総利根大橋を経由	坂東市 茨城県 下総利根大橋 芽吹大橋 埼玉県 利根川 千葉県 東京都 [2025年] 東京都までの道のり — 芽吹大橋を経由 — 下総利根大橋を経由
53	113	資料②	米 4.6 そのほか 10.0 野菜 19.0 畜産 66.4% 総額：3478億円 / 2021年 [生産農業所得統計]	米 3.9 そのほか 10.6 野菜 18.8 畜産 66.7% 総額：3720億円 / 2023年 [生産農業所得統計]
54	113	資料③	億円 800 600 400 200 0 肉牛 鶏肉(とりにわとり) 豚肉(ぶた) きゅうり 米 [2021年 / 生産農業所得統計]	億円 800 600 400 200 0 鶏肉(とりにわとり) 肉牛 豚肉(ぶた) きゅうり のたまご にわとり [2023年 / 生産農業所得統計]

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
55	115	資料④	米 消費量の98% 小麦 17 大豆 7 くだもの 39 牛乳 63 乳製品 79 野菜 53 肉 57 魚介 57 ※重量から計算したもの [2021年度/食料需給表]	米 消費量の99% 小麦 17 大豆 7 くだもの 38 牛乳 63 乳製品 80 野菜 53 肉 52 魚介 52 ※重量から計算したもの [2023年度/食料需給表]
56	115	資料⑤	カナダ フランス アメリカ イギリス 日本 ※熱量(カロリー)から計算したもの [食料需給表]	カナダ フランス アメリカ イギリス 日本 ※熱量(カロリー)から計算したもの [食料需給表]

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
57	117	資料②	(別紙 4 参照)	(別紙 4 参照)
58	117	資料③	 2021年度	 2023年度
59	117	1	1960 (昭和35) 年と2021 (令和 3) 年の1日の	1960 (昭和35) 年と2023 (令和 5) 年の1日の
60	117	右下	「食品ロス」の問題 日本の年間の食品廃棄量は、約2402万トンで、このうち、売れ残りや期限をすぎた食品、食べ残しなどの「食品ロス」は約523万トン（国民一人あたり1日114グラム）とされています（2021年度、農林水産省資料）。2030年までに一人あたりの食品の廃棄を半分にする試みが、世界各国で始められています。	「食品ロス」の問題 日本の年間の食品廃棄量は、約2232万トンで、このうち、売れ残りや期限をすぎた食品、食べ残しなどの「食品ロス」は約472万トン（国民一人あたり1日103グラム）とされています（2022年度、農林水産省資料）。2030年までに一人あたりの食品の廃棄を半分にする試みが、世界各国で進められています。

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
61	120	資料②	1950年 [昭和25] 農業・林業・水産業 48.3% 工業など 21.4% 商業など 30.3% 2022年 [令和4] 3.1 23.1 73.8 020406080100% [労働力調査年報 令和4年ほか]	1950年 [昭和25] 農業・林業・水産業 48.3% 工業など 21.4% 商業など 30.3% 2024年 [令和6] 2.9 22.9 74.2 020406080100% [労働力調査年報 令和6年ほか]

番号	原文	訂正文																																																
5	春キャベツ (主に4～6月に出荷) 愛知 17.6% 千葉 15.3 茨城 13.2 そのほか 37.6 37.3万t 神奈川 11.5 鹿児島 4.8 岩手 5.1 夏秋キャベツ (主に7～10月に出荷) 群馬 51.9% 長野 12.8 そのほか 16.7 51.7万t 北海道 9.0 茨城 4.5 神奈川 3.8 59.6万t 冬キャベツ (主に11～3月に出荷) 愛知 33.8% 千葉 10.0 鹿児島 8.4 茨城 6.2 そのほか 37.8 0 10 20 30 40 50 60万t [2021年/作物統計調査]	春キャベツ (主に4～6月に出荷) 愛知 19.6% 千葉 14.3 茨城 12.7 そのほか 36.5 35.4万t 神奈川 11.0 鹿児島 5.9 岩手 4.9 夏秋キャベツ (主に7～10月に出荷) 群馬 53.9% 長野 13.3 そのほか 15.4 48.3万t 北海道 8.8 茨城 3.7 神奈川 3.4 59.8万t 冬キャベツ (主に11～3月に出荷) 愛知 33.9% 千葉 10.5 鹿児島 8.5 茨城 6.4 そのほか 37.3 0 10 20 30 40 50 60万t [2023年/作物統計調査]																																																
15	<table><tr><th></th><th>札幌市</th><th>青森市</th><th>秋田市</th><th>盛岡市</th><th>山形市</th><th>仙台市</th><th>福島市</th></tr><tr><td>人口 (万人、2020年)</td><td>197.3</td><td>27.5</td><td>30.8</td><td>29.0</td><td>24.8</td><td>109.7</td><td>28.3</td></tr><tr><td>1年間の雪のふる量 (cm、1991年から 2020年の平均)</td><td>479</td><td>567</td><td>273</td><td>209</td><td>285</td><td>59</td><td>122</td></tr></table> ③札幌市と東北地方の県庁所在地の人口と雪のふる量 [気象庁資料ほか]		札幌市	青森市	秋田市	盛岡市	山形市	仙台市	福島市	人口 (万人、2020年)	197.3	27.5	30.8	29.0	24.8	109.7	28.3	1年間の雪のふる量 (cm、1991年から 2020年の平均)	479	567	273	209	285	59	122	<table><tr><th></th><th>札幌市</th><th>青森市</th><th>秋田市</th><th>盛岡市</th><th>山形市</th><th>仙台市</th><th>福島市</th></tr><tr><td>人口 (万人、2023年)</td><td>196.0</td><td>27.2</td><td>30.0</td><td>28.3</td><td>24.0</td><td>106.7</td><td>27.1</td></tr><tr><td>1年間の雪のふる量 (cm、1991年から 2020年の平均)</td><td>479</td><td>567</td><td>273</td><td>209</td><td>285</td><td>59</td><td>122</td></tr></table> ③札幌市と東北地方の県庁所在地の人口と雪のふる量 [気象庁資料ほか]		札幌市	青森市	秋田市	盛岡市	山形市	仙台市	福島市	人口 (万人、2023年)	196.0	27.2	30.0	28.3	24.0	106.7	27.1	1年間の雪のふる量 (cm、1991年から 2020年の平均)	479	567	273	209	285	59	122
	札幌市	青森市	秋田市	盛岡市	山形市	仙台市	福島市																																											
人口 (万人、2020年)	197.3	27.5	30.8	29.0	24.8	109.7	28.3																																											
1年間の雪のふる量 (cm、1991年から 2020年の平均)	479	567	273	209	285	59	122																																											
	札幌市	青森市	秋田市	盛岡市	山形市	仙台市	福島市																																											
人口 (万人、2023年)	196.0	27.2	30.0	28.3	24.0	106.7	27.1																																											
1年間の雪のふる量 (cm、1991年から 2020年の平均)	479	567	273	209	285	59	122																																											
24	農産物の生産額は、 どのように 変化しているのかな。 兆円 (2020年の物価に換算) 米 畜産物 野菜 果物 麦類 1960年 65 70 75 80 85 90 95 2000 05 10 15 20 [昭和35] [平成2] [令和2] [生産農業所得統計ほか]	農産物の生産額は、 どのように 変化しているのかな。 兆円 (2020年の物価に換算) 米 畜産物 野菜 果物 麦類 1960年 65 70 75 80 85 90 95 2000 05 10 15 20 23 [昭和35] [平成2] [令和2] [生産農業所得統計ほか]																																																

番号	原文	訂正文
34 35	中国・四国地方 1.5 北海道地方 0.4 中部地方 6.7 近畿地方 14.7 東北地方 21.8 関東地方 54.8% 北海道地方 (資料なし) 東北地方 ↑④庄内平野の米がとどけられる地方別のわりあい 2021年/JA全農山形資料 中国・四国地方 近畿地方 中部地方 関東地方 九州地方 高速自動車 国道 鉄道(貨物) 2022年 0 300km	中国・四国地方 1.6 北海道地方 0.8 中部地方 6.4 近畿地方 13.1 東北地方 29.8 関東地方 48.2% 北海道地方 (資料なし) 東北地方 ↑④庄内平野の米がとどけられる地方別のわりあい 2023年/JA全農山形資料 中国・四国地方 近畿地方 中部地方 関東地方 九州地方 高速自動車 国道 鉄道(貨物) 2025年 0 300km
41	主な漁港の水あげ量 〔単位千t〕 全国：241万t 〔2021年 / 水産物流通調査〕 0 300km 枝幸 44 広尾 70 たらばがに 平内 39 ほたて貝 気仙沼 75 石巻 96 いわし 松浦 59 ぶり 長崎 52 あじ 枕崎 62 たかさこ 紋別 74 湧別 38 にしん たら いか かかれい さけ まぐろ さんま いわし 銚子 280 焼津 148 たい いせえび かつお 山川 40 常呂 37 網走 50 八戸 44 女川 42 日本海 太平洋 黒潮(日本海流) 対馬海流 暖流 寒流 魚が多くとれるのは、 びのよふととるふた	主な漁港の水あげ量 〔単位千t〕 全国：222万t 〔2023年 / 水産物流通調査〕 0 300km 枝幸 40 広尾 88 たらばがに 平内 31 ほたて貝 気仙沼 65 石巻 97 いわし 松浦 75 ぶり 佐世保 33 長崎 60 あじ 枕崎 67 たかさこ 紋別 76 湧別 35 にしん たら いか かかれい さけ まぐろ さんま いわし 銚子 189 焼津 116 たい いせえび かつお 山川 40 常呂 43 網走 52 根室 31 八戸 37 日本海 太平洋 黒潮(日本海流) 対馬海流 暖流 寒流 魚が多くとれるのは、 びのよふととるふた

番号	原文	訂正文
45		
47		

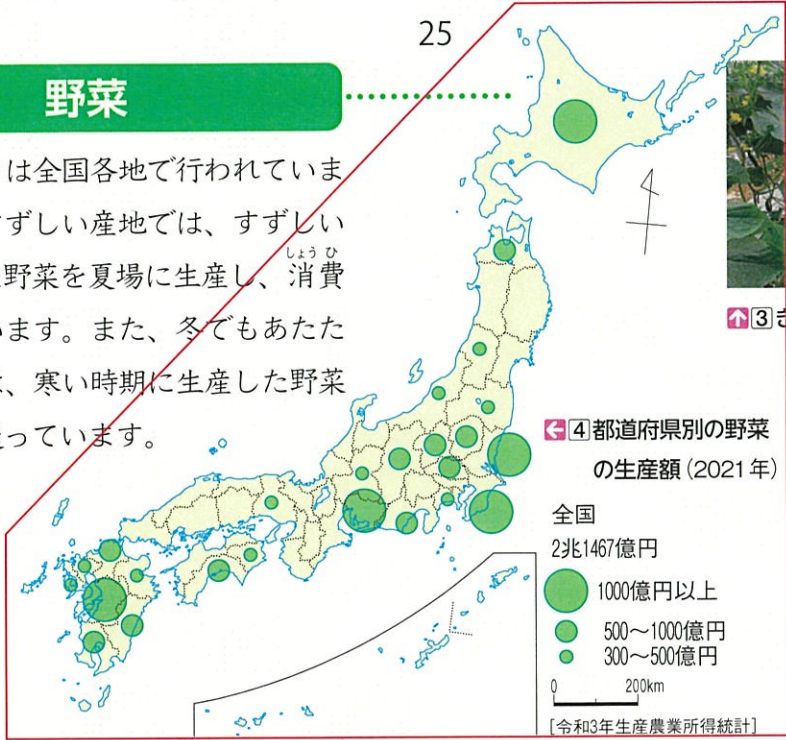
番号	原文	訂正文
57		

番号 25、26、27

原文

野菜

野菜づくりは全国各地で行われています。夏でもすずしい産地では、すずしい気候に向いた野菜を夏場に生産し、消費地に送っています。また、冬でもあたたかい産地では、寒い時期に生産した野菜を消費地に送っています。



3 きゅうりの収穫(宮崎県宮崎市)

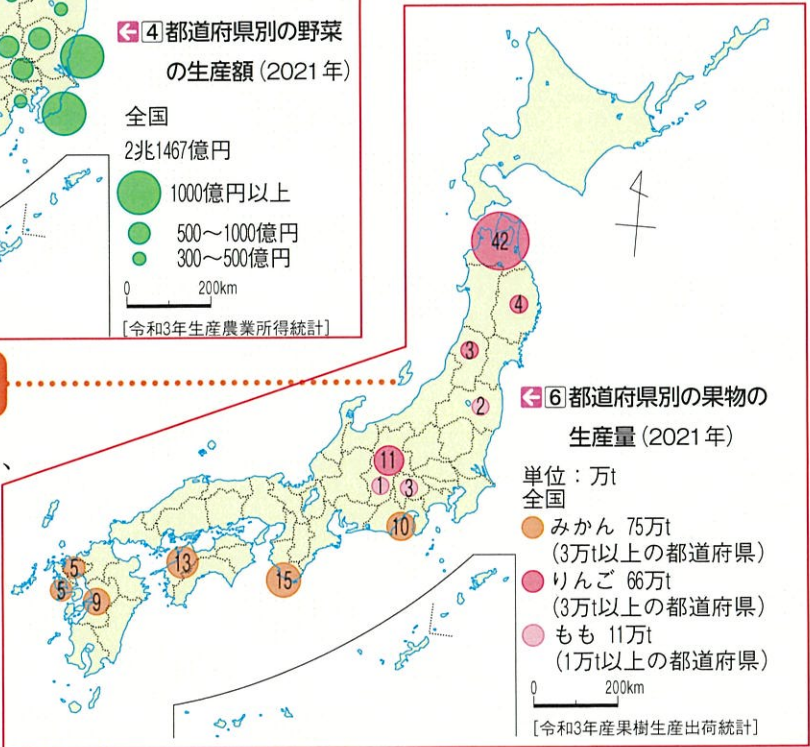
果物

果物は、気候のえいきょうを受けやすいため、さいばいされる地域が限られています。

みかんは、あたたかい気候の地域でさいばいされています。また、りんごは、雨が少なく、すずしい気候の地域でさいばいされています。



5 みかんの収穫
(愛媛県八幡浜市)



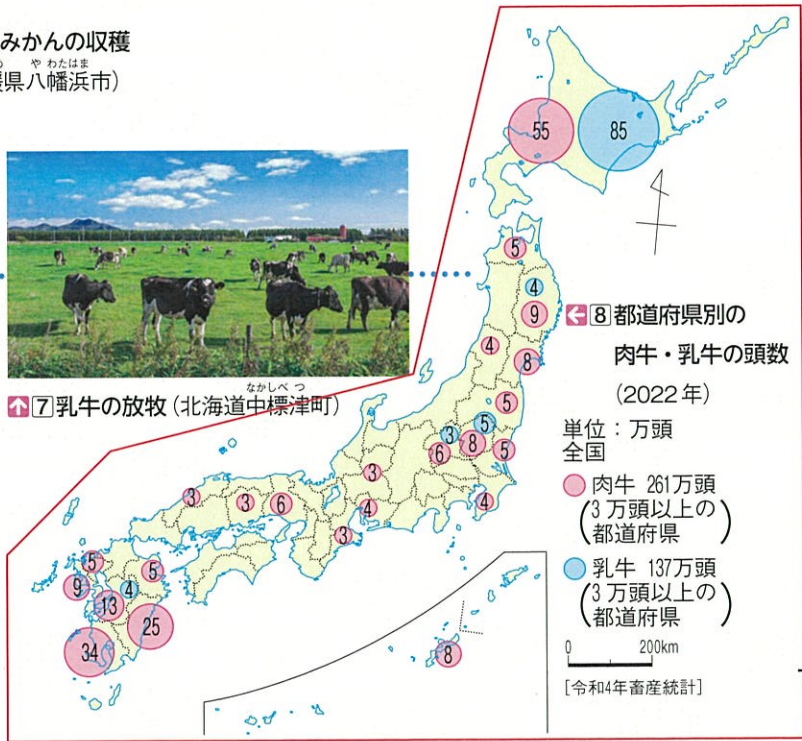
畜産

畜産のなかでも、肉牛や乳牛の飼育には、えさになる牧草をつくる広い土地が必要になるため、主な産地は北海道や九州地方になっています。

畜産は、野菜や果物に比べて、生産額が高いです。



7 乳牛の放牧(北海道中標津町)

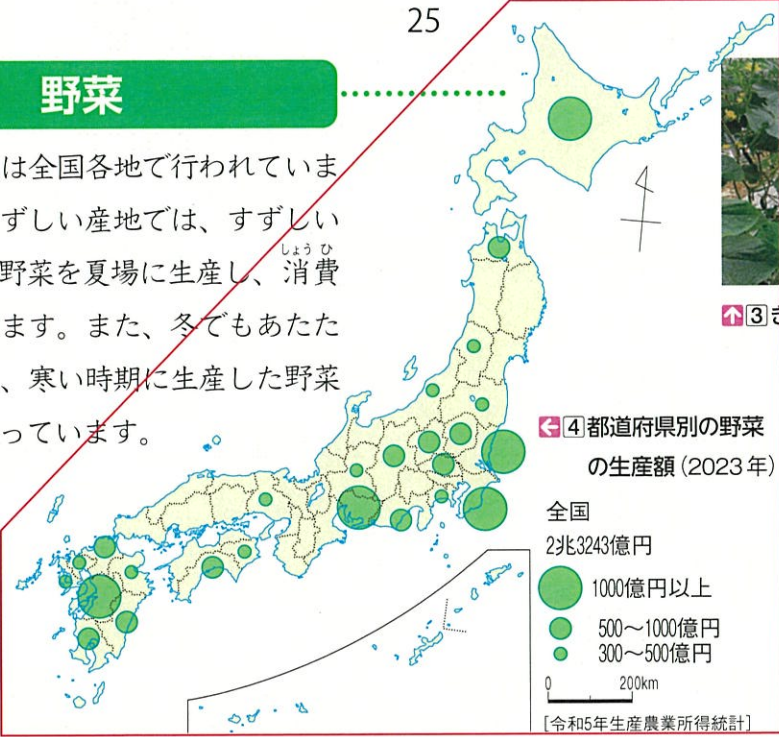


番号 25、26、27

訂正文

野菜

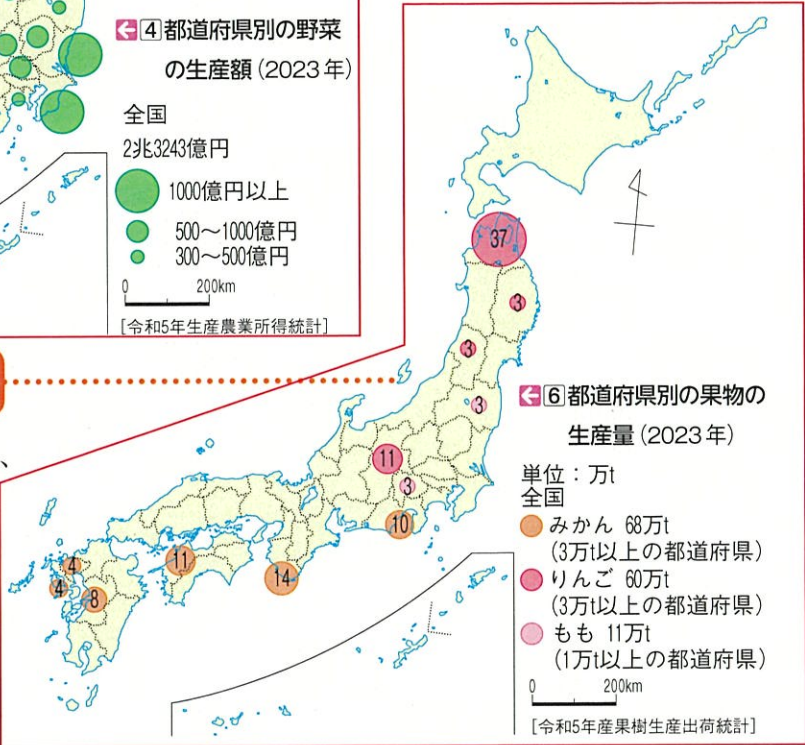
野菜づくりは全国各地で行われています。夏でもすずしい産地では、すずしい気候に向いた野菜を夏場に生産し、消費地に送っています。また、冬でもあたたかい産地では、寒い時期に生産した野菜を消費地に送っています。



③きゅうりの収穫(宮崎県宮崎市)

果物

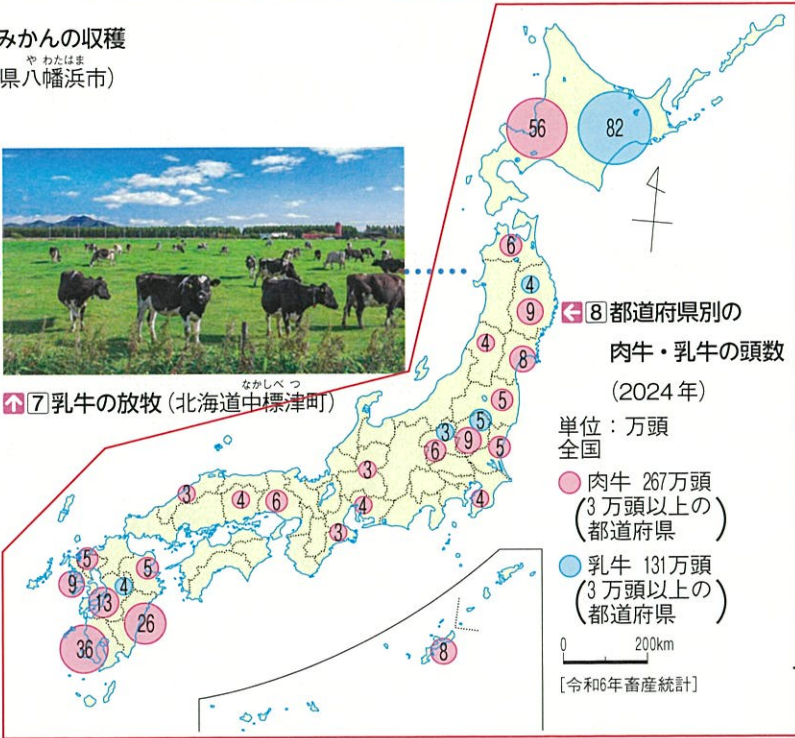
果物は、気候のえいきょうを受けやすいため、さいばいされる地域が限られています。
みかんは、あたたかい気候の地域でさいばいされています。また、りんごは、雨が少なく、すずしい気候の地域でさいばいされています。



⑤みかんの収穫(愛媛県八幡浜市)

畜産

畜産のなかでも、肉牛や乳牛の飼育には、えさになる牧草をつくる広い土地が必要になるため、主な産地は北海道や九州地方になっています。
畜産は、野菜や果物に比べて、生産額が高いです。



⑦乳牛の放牧(北海道中標津町)

まとめる

わたしたちが食べている
食べ物の主な産地は
どのようなところか、
まとめましょう。

地図とノートにまとめる みさきさんたちは、今
までの学習をもとに、さまざまな食べ物の産地に
ついて地図とノートにまとめました。

まとめの活動に **ことば** を生かそう
●産地 ●水田 ●生産額

学習問題

わたしたちのくらしを支えて
いる食べ物の産地は、どのように
広がっているのでしょうか。

●日本の土地利用
水田 都市
畑地 その他
森林
[新版日本国勢地図]

●主な食料の総生産量 (2021年、*は2022年)

米*	だいこん	キャベツ	きゅうり
726.9万t	125.1万t	148.5万t	55.1万t
りんご	みかん	もも	
66.2万t	74.9万t	10.7万t	
肉牛*	ぶた*	にわとり* (たまご用)	魚などの 水あげ量
261.4万頭	895.0万頭	1.8億羽	241.0万t

①、②、③は生産量や水あげ量の全国での順位
[農林水産省資料]

食べ物の主な産地の広がり と自然条件

●米は日本じゅうに産地があり、各地
に多くの水田が見られます。特に、
東北地方や新潟県、北海道などで生
産がさかんで、気候によってつくら
れる時期が少しちがいます。

●野菜は、

●果物は、

●畜産は、

●水産物の水あげ量が多いところは、

まとめたノートを見て、日本の食料生産
について考えたことを続けて書きましょう。

ほっかいどう
北海道

①55.3万頭 ②14.3万t ③55.3万t
③72.8万頭

あき た
秋 田

③45.7万t

にい がた
新 潟

①63.1万t

あお もり
青 森

①41.6万t ③11.4万t

いわ て
岩 手

③4.2万t

くし ろ
釧 路

②20.5万t

ふく しま
福 島

②2.4万t

ぐん ま
群 馬

①29.2万t ②5.4万t

いばら き
茨 城

①1529万羽

ちやう し
銚 子

①28.0万t

さい たま
埼 玉

③4.6万t

ち ば
千 葉

①14.8万t ②1289万羽 ③12.0万t

なが の
長 野

②11.0万t ③1.1万t

やま なし
山 梨

①3.5万t

え ひめ
愛 媛

②12.8万t

わ か やま
和 歌 山

①14.8万t

あい ち
愛 知

②26.7万t

やい づ
焼 津

③14.8万t

しず おか
静 岡

③10.0万t

みや ざき
宮 崎

①6.4万t

②76.4万頭

③25.5万頭

か こ し ま
鹿 児 島

①119.9万頭

②33.8万頭

③1194万羽



まとめる

わたしたちが食べている
食べ物の主な産地は
どのようなところか、
まとめましょう。

地図とノートにまとめる みさきさんたちは、今までの学習をもとに、さまざまな食べ物の産地について地図とノートにまとめました。

まとめの活動に **ことば** を生かそう

●産地 ●水田 ●生産額

学習問題

かくにんを確認しよう

わたしたちのくらしを支えている食べ物の産地は、どのように広がっているのでしょうか。

●日本の土地利用
水田 都市
畑地 その他
森林

[新版日本国勢地図]

●主な食料の総生産量 (2023年、*は2024年)



[農林水産省資料]

食べ物の主な産地の広がり と自然条件

●米は日本じゅうに産地があり、各地に多くの水田が見られます。特に、東北地方や新潟県、北海道などで生産がさかんで、気候によってつくられる時期が少しちがいます。

●野菜は、

●果物は、

●畜産は、

●水産物の水あげ量が多いところは、

まとめたノートを見て、日本の食料生産について考えたことを続けて書きましょう。

ほっかいどう
北海道



①55.9万頭



②75.2万頭



②12.7万t



②56.2万t

あき た
秋田



③49.0万t

あお もり
青森



①37.4万t



③10.3万t

いわ て
岩手



③3.2万t

くし ろ
釧路



①19.0万t

ぐん ま
群馬



①28.3万t



②5.4万t

いばら き
茨城



②1,231万羽

ちやう し
銚子



②18.9万t

さい たま
埼玉



③4.3万t

ち ば
千葉



①14.7万t



①1,417万羽



③11.6万t

え ひめ
媛



②11.1万t

わ か やま
和歌山



①14.4万t

あい ち
愛知



②27.3万t

やい づ
焼津



③11.6万t

しず おか
静岡



③10.0万t

みや ざき
宮崎



①6.2万t



③72.2万頭



③25.8万頭

か こ し ま
鹿児島



①120.0万頭



②36.3万頭



③1,030万羽

